

# 酒田市白鳥を愛する会

—最上川スワンパークのあゆみ—

安藤 興吉

粉雪舞う山形県の母なる川。最上川河口に白鳥が確認されたのは昭和の始めと言われています。当時は数羽で一家族でしょう。淋しく岸辺で越冬しハンターの的となり、いつとなく姿を消したと言われています。昭和41年結氷した最上川の中洲に雪玉の様にうずくまっている白い鳥を、当時酒田市立第三中学校の科学班の生徒たちが見つけました。酒田市亀ヶ崎公民館に日向校長先生より調べて欲しいとの連絡を受け調べたところ、国際保護鳥の白鳥と分り生徒たちが観察を始めたことがきっかけとなりました。翌42年公民館活動の一環とし、子供たちの冬季生活指導と情操教育を育てる事を基本とした公民館地域14自治会を母体に会員となり酒田白鳥を愛する会として結成する事となりました。初代会長に公民館長が当り各部門毎愛護活動を推進する運びとなりました。私は飛来する河口の近くとあって餌付を担当。警戒心の強い白鳥は仲々近寄ってくれません。人がいない夜には餌場に来て平らげているのですが、昼間はさっぱり。こうして1年が過ぎ2年目「だめか」と自信を失いかけたことも。そこで先進地新潟県水原町瓢湖に重ねて出掛け、どうすれば餌付けがうまくいくか生態を学びました。以後3年目一面に張り詰めた厚い氷を割り餌を投げ込む様に与えました。腹をすかしたのでしょうか、1羽の幼鳥がよちよち歩き出し餌を食べました。私はその日の事を忘れません。その瞬間「やった」と1人で言ってしまう程嬉しかったです。餌付け成功と共に、毎日放課後ランドセルを背に訪れ、餌をやったり羽数を調べたり水温を計ったり観察が行なわれ、子供たちと白鳥の姿を水面に写すことが出来、子供たちや地域住民のふれあい広場となりました。反面、酒田白鳥を愛する会も発足して10年が過ぎ、高度成長に伴い地域が一変し当時の第三中学校が港南小学校に校種変更、自治会も14自治会が45自治会に、小学校1校が3校に新設、人口2万人を越える地域と様相が一変し、白鳥を愛する会の運営に困難を極め再出発の必要があると思われました。亀ヶ崎公民館も地区振興会に改められ、昭和52年名称を酒田市白鳥を愛する会と改め、再出発する運びとなりました。現在酒田市東禅寺コミュニティ防災センター内に事務局を置き、「白鳥とのふれあい広場」から「最上川スワンパーク」と名付け地域住民はもとより、幼稚園から小中学校の子供たちほか県内外より15万人を越える観光客が訪れるスワンパークと変って参りました。

## 地域住民の努力実る

自然愛護と野鳥保護の熱意が認められ、昭和47年禁猟区、鳥獣保護区となり、ハクチョウやガン、カモなどが安全に憩える様になりました。今ではハクチョウの飛来する「自然公園」として新たに脚光を浴びる様になりました。建設省酒田工事々務所に於いて平成元年より3年継続で環境整備護岸工事が行なわれ、テラス状護岸の中央にスワンパークの象徴となる求愛のモニュメントが設立さ

---

酒田市東禅寺コミュニティ防災センター

酒田市白鳥を愛する会 事務局長

☎998 酒田市みずほ2丁目8-7 電話 0234-23-0637

れました。あわせて酒田市として6,500㎡の「白鳥の島」が造成、又150mに渡る観察スペース（駐車場）も設けられ、子供たちや市民が野鳥や水と緑に四季を通した憩いの空間となりました。

白鳥飛来数 全国一斉調査 1月15日

昭和41年	7羽	昭和51年	1,350羽	昭和61年	2,374羽
〳 42 〳	28 〳	〳 52 〳	1,207 〳	〳 62 〳	2,384 〳
〳 43 〳	98 〳	〳 53 〳	670 〳	〳 63 〳	2,280 〳
〳 44 〳	327 〳	〳 54 〳	1,052 〳	平成元年	2,436 〳
〳 45 〳	430 〳	〳 55 〳	1,207 〳	〳 2 〳	2,620 〳
〳 46 〳	700 〳	〳 56 〳	2,570 〳	〳 3 〳	3,320 〳
〳 47 〳	982 〳	〳 57 〳	2,268 〳	〳 4 〳	4,210 〳
〳 48 〳	1,040 〳	〳 58 〳	2,044 〳	〳 5 〳	4,684 〳
〳 49 〳	1,280 〳	〳 59 〳	2,514 〳		
〳 50 〳	1,200 〳	〳 60 〳	2,218 〳		

#### 会の事業と経過

- ① 白鳥が帰った後毎年5月定期総会開催、年度の経過、事業予算を審議
- ② 傷ついて帰れない残留白鳥の処置
- ③ 自然食まこもの植栽。地域亀城、港南、松原各小学校、市立第三中学校の生徒たちと中小河川よりの植栽を実施。
- ④ 環境整備、花壇づくり 150mに渡るスワンの花文字に草花植栽を行う
- ⑤ 餌収集作業－農業、ライスセンター。一般の供給地に挨拶廻り。収集運搬作業実施
- ⑥ 会員と一般市民の白鳥ふれあい観察会。自然愛護と野鳥保護思想の高揚を計るため1月、2月、ふれあい探鳥会、観察会を開催。白鳥を通し交流を深める。
- ⑦ 餌供給地との親善交流－昭和63年の餌不足を知った神奈川県海老名市より大量の餌が供給され以後毎年相互親善交流を実施
- ⑧ 白鳥飛来地との交流－山形県内11ヶ所の飛来地と持ち廻りで親善交流会を開催

#### 首に棒－痛々しい白鳥3羽

哀れ白鳥、怒る市民。北帰行前に助けてやりたい－「白鳥の会」懸命の救助

平成5年1月18日左側に棒の刺さった白鳥を見付け、さらに2月11日右側と首の後に棒の刺さった3羽目が見付かりました。傷付いた白鳥は全国の話題に。東京テレビ局、雑誌社、スポーツ誌の取材陣が訪れ、翌週ワイドショーなどが一斉に報道。地元関係者を驚かせました。棒負白鳥は余り衰弱した様子もなく仲間と同じ行動を取っていました。なんとか救護しようと自然保護連盟、日本白鳥の会、山形県自然保護課、酒田市の応援を求め懸命の救助作戦を実施。まず餌で誘いタモ網を使ったが比較的元気で捕えることが困難でありました。そこで大型網を使っただけの捕獲を試みましたが、白鳥は近寄らず、以後一層警戒心が強まり網に近付かなくなりました。4千羽を越す白鳥に恐怖心を与えとしまう可能性を考慮し数が少なくなってからボートなどで陸地に追い込む方法を取り、当分観察する事となりました。会発足28年の間この様な事は初めてで、二度とないように酒田署に依頼。刺さった棒を特定するため、玩具店、銃砲店など廻る一方で、目撃者捜しに全力を挙げて頂きました。

た。酒田市民が白鳥の楽園として育ててきたスワンパークです。多くの市民もショックを受けています。市民の理解と協力を求めモラルに訴えていくしかないと思う次第です。

#### 18才の白鳥、4ヶ産卵

ケガをして北帰出来ない28羽の白鳥は各施設に保護を依頼して参りました。中でも土門拳記念会館（拳湖）の白鳥は5月8日より相つぎ4ヶの卵を産みました。卵はカラスなどに襲われるため人口ふ化器によるふ化を試みる事としましたが失敗。標本にして子供たちの教材に使用しています。（卵の大きさなど別紙）

最上川スワンパークは、小学校3年の教材として勉強されています。

小学校3年 「わたしたちの道」

別紙 参照

教科書原稿－酒田市白鳥を愛する会事務局長 安藤與吉提供

愛鳥の心を育む楽園づくり

自然は友達。生涯の友であり白い旅人である白鳥がつくる友好の輪と白鳥の生態を愛のままざしで見守れるロマンあふれる町に環境整備を進め、さらに河川空間のモデルとして取り組んで参りたいと私は思います。

### わたしたちの道3

コーイ コイ!コイ!

毎年、冬が近づくと、酒田市の最上川には、北のシベリアから、たくさんの白鳥がやってきます。

夕日のきらきらかがやく水面に、白鳥がしずかにうかんでいるふうけいは、とても美しく、よし子はだいすきです。

「コーイ コイ!コイ!」

よし子は、同じ組のなかよしのけい子といっしょに、「白鳥を愛する会」のおじさんから教えてもらったよび方で、よびかけ、えさをやると、白鳥たちは、

「クウツ、クウツ。」

となきながら、近よってきます。

きびしいさむさのなかで、えさはこびやえづけをするのは、たいへんなしごとですが、よし子にとって少しもいやではありません。

ただ、よし子は、えづけをする時、あることを思い出します。

それは、けい子の家にあそびにいった日のことです。

よし子が、ふと、思いついて、

「えづけは、人にたよることをおほえさせるだけで、白鳥のためにならないのではないかしら…。」

と言った時、けい子から、

「えづけをしないと白鳥は、もどれなくなるのよ。知らなかったの。」

と言われ、むっとしたことがあったのです。

冬休みも近い、ある月曜日の全校朝会の時、校長先生が、つぎのような話をしてくださいました。

「今日は、とてもうれしいニュースがあります。先週、『白鳥を愛する会』の方から、知

らせていただいたのですが、『〇〇1Y』という標識をつけた白鳥が、去年はひとりぼっちでしたが、今年は、6ばの家族といっしょに最上川にやってきたそうです…。」

「うわあ」

と、かん声が上がリ、はく手がおこりました。校長先生は、みんなのしずまるのをまって、話を続けました。

「みなさんが、いっしょうけんめいに、世話をしたので、今年もやってきたのだと思います。ほんとうに、うれしいですね。」

それからしばらくして、3年2組では、この一年間の自主けんきゅうの発表会がひらかれました。

けい子が、白鳥について発表しました。

白鳥は、春のおとずれを早くかんじること。家族をととも大事にすること。まこもがだいこうぶつの自然食であること。まこもは夏のうちから川ぎしの近くに植えておくこと。えづけはもどっていく力をつけること。えづけはほどほどにすること……など。

けい子が、白鳥についてよくしらべていたので、よし子はびっくりしました。そして、はっと気づくことができました。

教室のそとは、今日もはげしくふぶいていますが、よし子の心は、白鳥のことでいっぱいでした。

◇よし子が、はっと気づいたことはどんなことでしょう。

◇白鳥が、今年も、また、家族をつれてすがたを見せたのは、どうしてでしょう。

昭和44年、酒田市「白鳥を愛する会」は、えづけに成功、それいらい、2千数100ばの白鳥がとんできます。

オオハクチヨウの卵

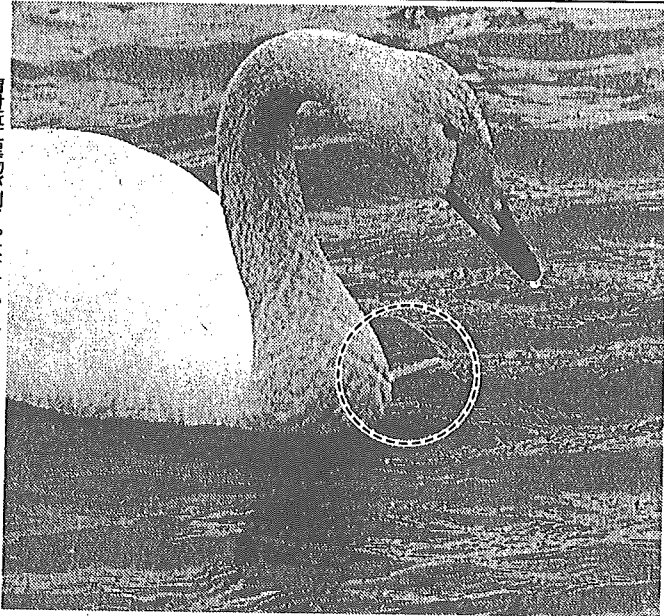
	1 個目	2 個目	3 個目	4 個目
採卵日	平成 6 年 5 月 8 日 午後 2 時半頃	平成 6 年 5 月 13 日 午後 2 時頃	平成 6 年 5 月 24 日 午前 10 時頃	平成 6 年 5 月 26 日 午前 5 時半頃
長 さ	11.5 cm	11.5 cm	11.0 cm	10.5 cm
横 幅	6.8 cm	6.5 cm	6.7 cm	6.7 cm
回 り	24.0 cm	22.5 cm	22.5 cm	22.5 cm
重 さ	345 g	330 g	300 g	290 g

(第三種郵便物認可)

1993年(平成5年)2月11日(木曜日)

奇 産

肩付近に異物が刺さったオオハクチヨウ(斎藤俊一さん撮影)



酒 田  
最上川

# 北帰行前に治療を

## 「愛する会」懸命の捕獲作戦

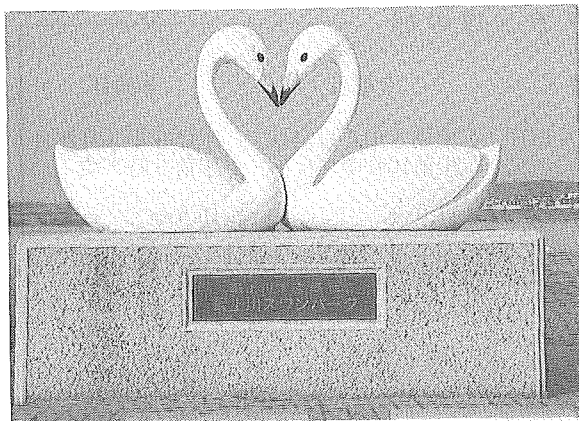
### 悲痛…矢負いのハクチヨウ

東京・石神井川のオオハクチヨウの痛々しい姿に注目が集まっているが、今度ばかりのハクチヨウ飛来地として知られる酒田市の最上川河口で、長さ約十三センチ、直径二センチの棒状の異物が肩に刺さっているオオハクチヨウが見つかった。同市白鳥を愛する会のメンバーが、手当てしようと網で捕獲を試みているが、今のところ成功していない。

このハクチヨウが見つかったのは、先月二十六日。アラスカ産と見られるピンク色の棒が、オオハクチヨウの肩に刺さっている様子で、愛する会の安藤与吉事務局長は、「何かとつつかって刺さったのではなく、だれかがオオハクチヨウを刺したと見える。かわいそう」と心を痛めている。

幸い急所はそれて衰弱の様子はないが、クチバンには懸命に抜き取ろうとした跡と見られるすり傷が残り、痛々しい。

心配なのは、数日中にハクチヨウたちの北帰行が始まるとみられること。愛する会では「治療しても今シーズンにはベリリアに帰れないかもしれないが、このまま旅立って途中で力尽きたら大変」と、必死の捕獲作戦を続けている。

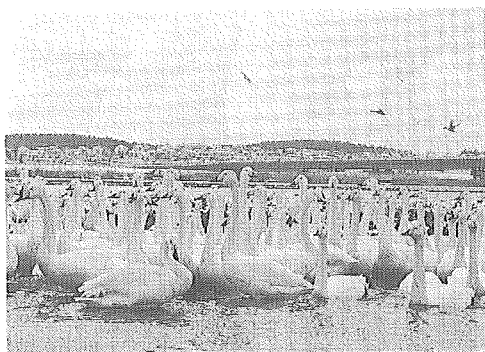


モギユメツト

子供たち勉強会



海老名市 招待の観光



餌付場の白鳥



1月15日



講習会



花壇植



スワン花文字 サルビア植栽



小、中学校生徒 まこも植栽



人口白鳥の島



ふれあいの会



総 会



ふれあいの会来所者川



棒負白鳥